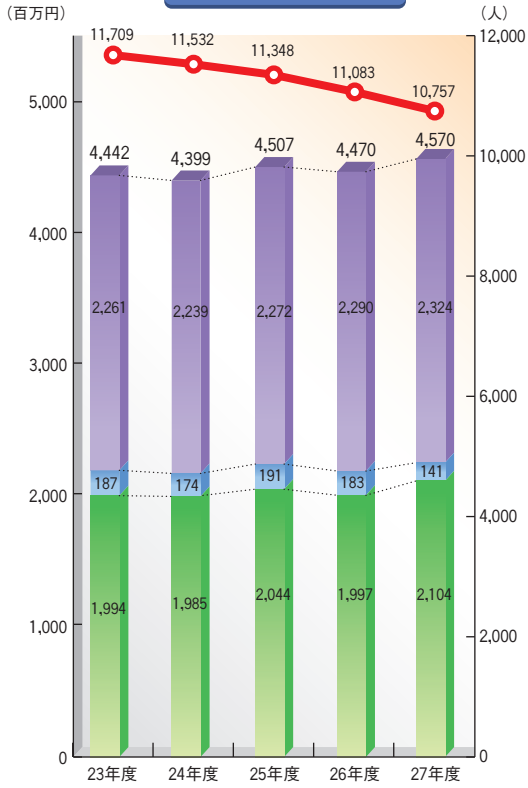


益子町

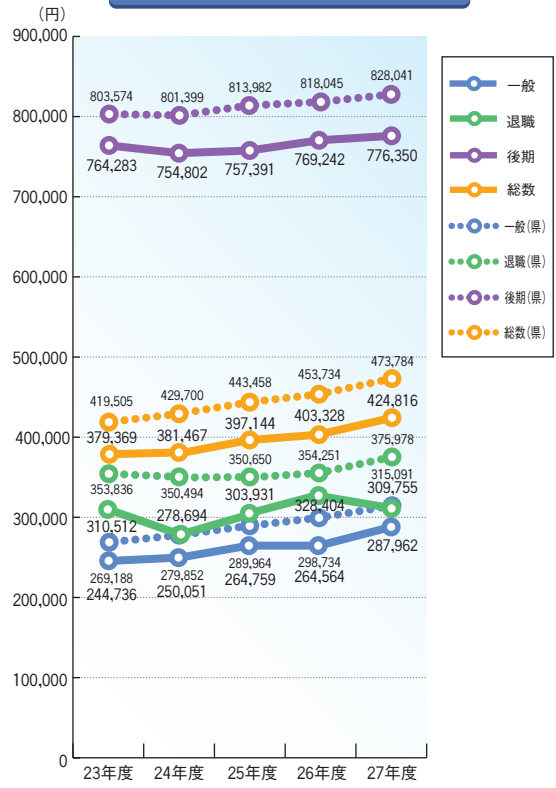
益子町



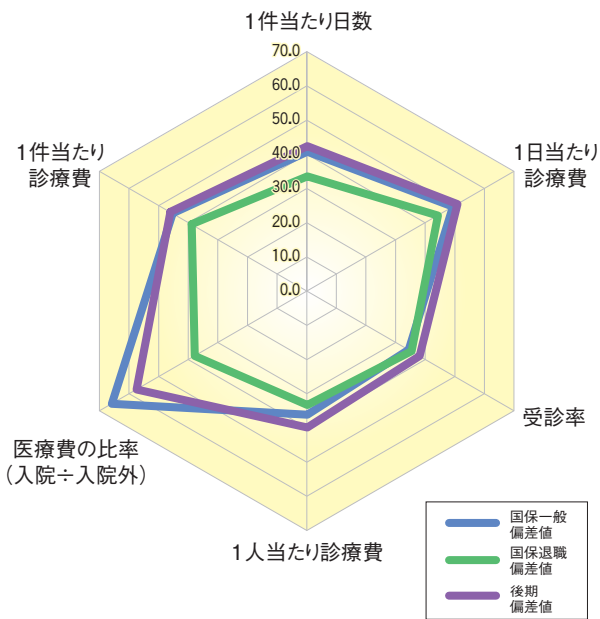
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

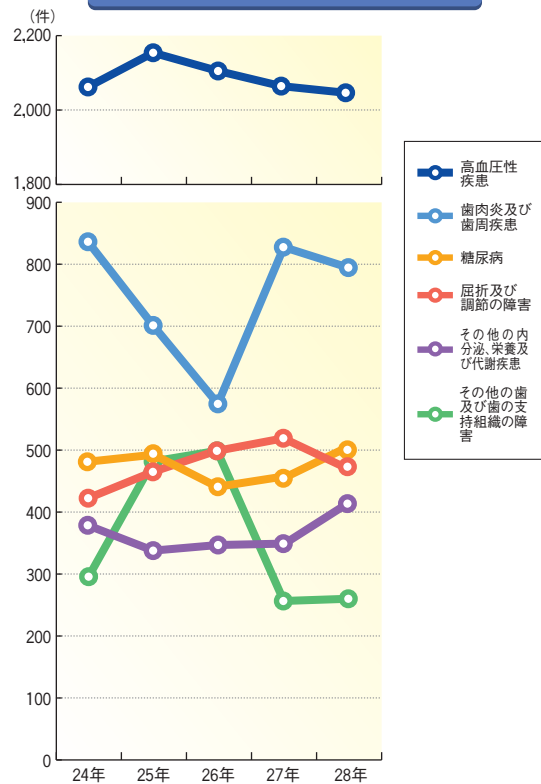


平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

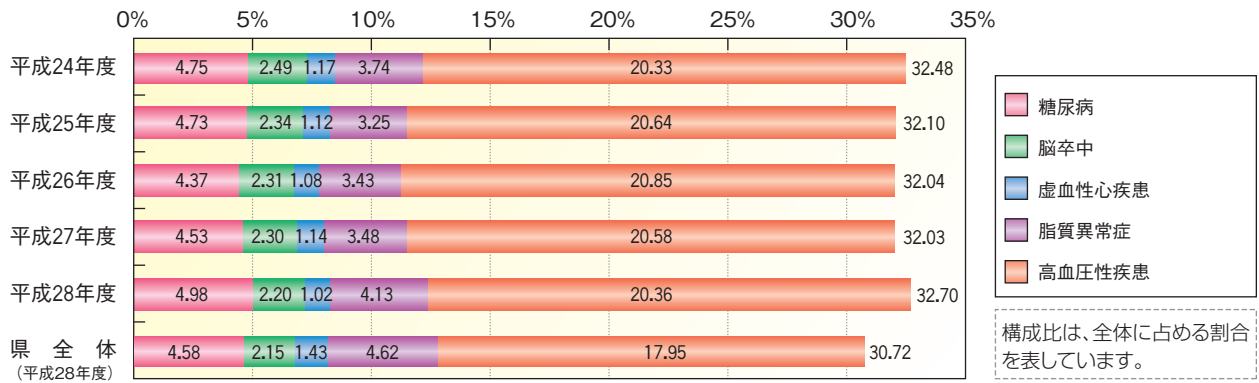


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

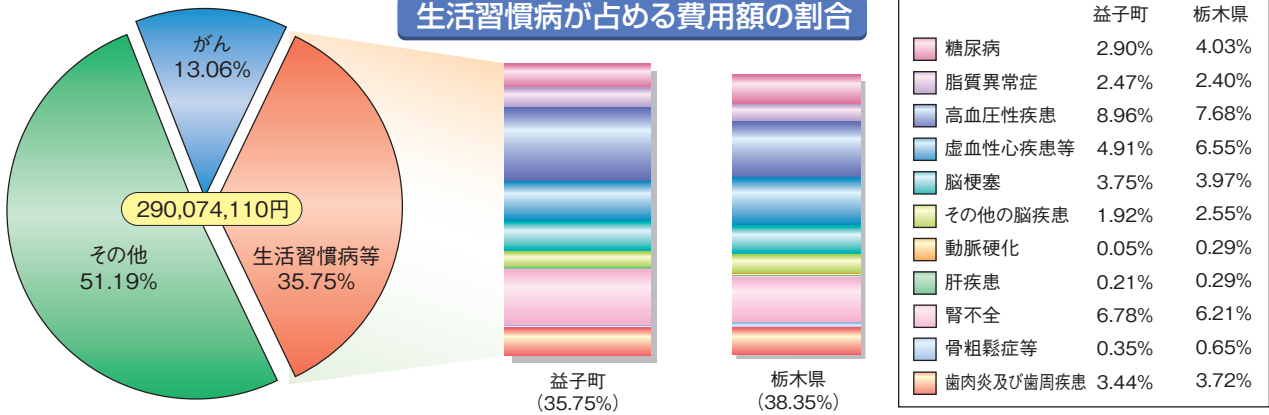
多受診疾病上位6位の推移



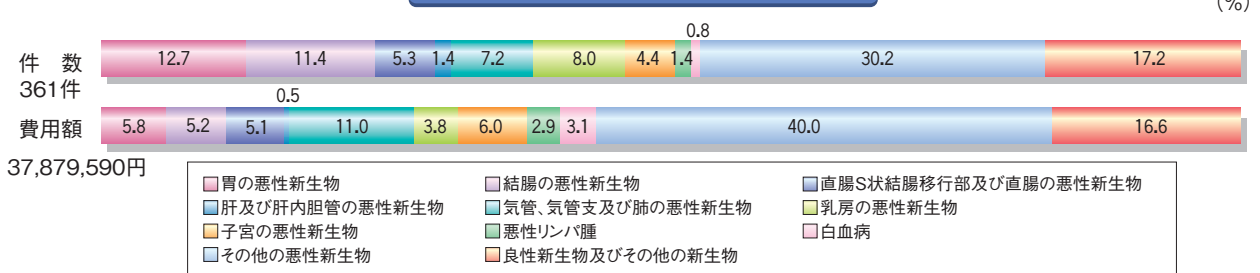
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



益子町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,104,136千円(105.3%)、退職141,248千円(77.4%)、後期2,324,328千円(101.5%)で、全体では4,569,713千円(102.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は10,757人で、内訳は一般7,307人、退職456人、後期2,994人である。前年度比較すると全体で97.1%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は424,816円(21,488円増)、一般は287,962円(23,398円増)、退職は309,755円(18,649円減)、後期は776,350円(7,108円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、医療費の比率が高い偏差値であり、後期は、1日当たり診療費及び医療費の比率が高い偏差値となっている。退職は全ての項目において県平均を下回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成28年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも5位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患の費用額は前年比1.57倍となっている。

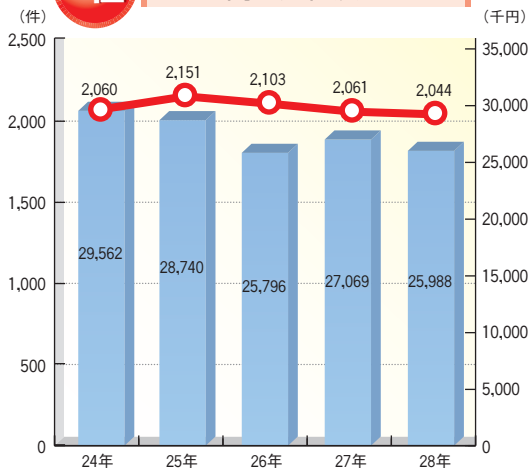
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ高血圧性疾患の構成値が非常に高く、また、糖尿病及び脂質異常症については過去5年で最も高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が290,074,110円で、がんが13.06%、生活習慣病関連が35.75%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.96%、腎不全6.78%となっている。

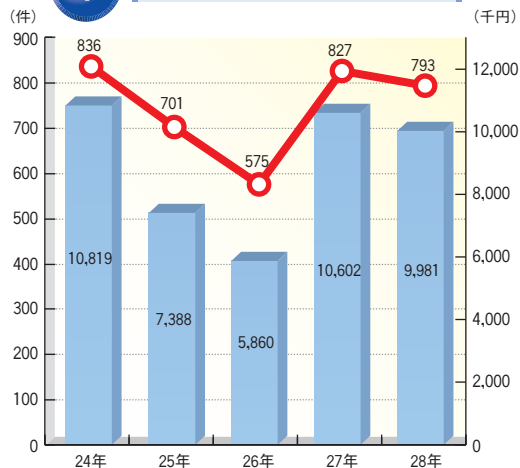
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

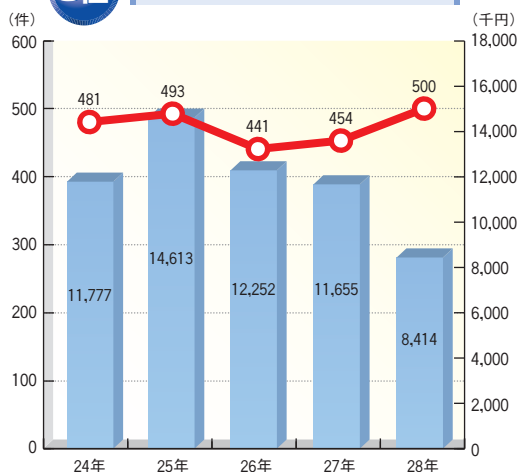
1位 高血圧性疾患



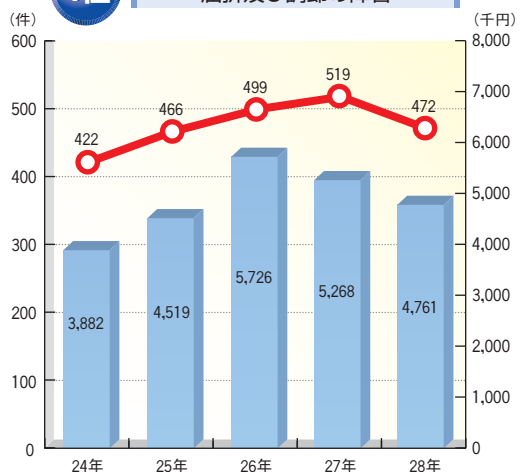
2位 歯肉炎及び歯周疾患



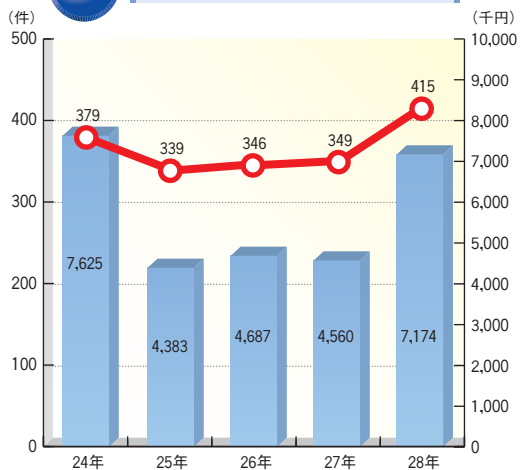
3位 糖尿病



4位 屈折及び調節の障害



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

